技術解説サポート·FAQ·展示会情報·その他最新情報等···· 新規公開広報活動、追加改定等のお得な情報を、随時お知らせいたします。

技術支援

電対の豆知識

『熱電対』は、2種類の異なる金属線を先端で接合した(対にした)温度センサで、両端の温度差に応じて発生する微弱な電圧(熱起電力)を 利用しています。熱電対を利用してどのように温度を測っているか、動作原理や使用時の注意点等について解説してあります。

1) 均質回路の法則

『均質回路の法則』と書くと、聞き慣れない方には難しく聞こえるかもしれませんが、要は、同じ金属線(均質な金属) のみでは、熱電対として熱起電力を取り出せないと言う当たり前の法則です。

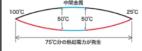
同種の金属構成された場合、熱電対にはなりえません。



2) 中間金属の法則

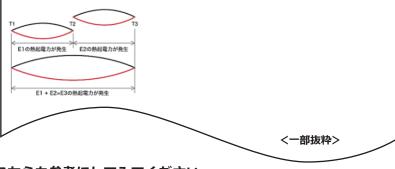
『中間金属の法則』は、読んで字の如く熱電対の中間に異種金属が入った際の法則です。

熱重対の間に異種余属が挿入されて際、その両端に温度差がない場合は、温度計測に影響を受けません。 挿入された異種 金属間に温度差が生じた場合、誤差の原因となる訳です。



3) 中間温度の法則

『中間温度の法則』は、下図のように ${\sf T1, T2, T3}$ と温度の異なる点(別に ${\sf 3}$ 点でなければいけない訳ではなく説明 の便宜上3ヶ所にしました)を熱電対にて温度計測した場合、T1-T2間の熱起電力E1とT2-T3間の熱起電力E2 の和は、T1-T3間の熱起電力E3に等しいと言う法則です。



詳細はこちら (技術解説ページ)→

https://www.rkcinst.co.jp/technical_commentary/14552/



クリックしてリング

こちらも参考にしてみてください

熱電対の原理について→ (技術解説ページ)

https://www.rkcinst.co.jp/technical_commentary/13095/



一般用温度センサ紹介ページ→

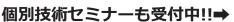
https://www.rkcinst.co.jp/products/489/



クリックしてリンク

クリックしてリンク





https://www.rkcinst.co.jp/technical_commentary/316650/

温度センサや電力調整器の基礎知識をはじめ、各種無料セミナーの お申し込みを受け付けております。PID 講習は各定数などを講習





